

事業 その4

なかのしま「出会い♥ふれあい」交流事業

☆christmas in なかのしま



人口減少や高齢化社会に対応する取り組みとして、地域内で新たな出会いやふれあいを生むきっかけをつくり、地域全体の活性化へ繋げることを目的とした事業です。(1)中之島コミュニティセンター(中之島コミュニティ推進会議町づくり部会)と(2)NPO法人キズナの森が、それぞれ次の事業に取り組みました。

(1)来い恋☆Christmas inなかのしま

独身男女に出会いの場を提供し、交流を深めてもらうため、12月6日(日)に中之島コミュニティセンターで婚活パーティーを開催。当初、参加定員を男女各20人で募集しましたが、予想を上回る多くの方からお申し込みいただき、当日は男性40人、女性32人から参加いただきました。スタッフ(町づくり部会)は参加者の皆さんを温かく歓迎したいという思いで、この日に向けて何度も打合せを重ね、準備を進めてきました。前日の会場づくりはスタッフとボランティアでホールをクリスマス風に飾り付け、アットホームで和やかな雰囲気の会場に変身させました。

オープニングでは「和太鼓響」による和太鼓演奏とともに女性が入場し、男性が温かく迎えました。

グループごとに分かれて自己紹介をした後、フリータイムのパーティーが行われました。パーティー料理には地元特産品のPRを兼ねて、大口れんこんチップを提供しました。また、会場にはキャンドル作りや愛の鈴作りが体験できるコーナーがあり、参加者が一緒にキャンドル作りなどを楽しみました。パーティーの最後には「なかのん」が登場。中之島〇×ゲームで会場を盛り上げました。

そして、いよいよカップル発表…。なんと、8組のカップルが誕生!会場は祝福ムードに包まれました。皆さんお幸せに♡



長岡市中之島地域ふるさと創生基金事業

ふるさとづくり
なかのしま Nakanoshima

第10号
2016.3.25

事業 その1

大口れんこん収穫体験ツアー

県内外に多くのファンをもつ中之島の特産品「大口れんこん」。収穫作業を楽しみながら体験してもらうことで、その魅力のさらなる発見とPRにつなげようと、平成18年度から続いている大好評のツアーです。大口れんこん生産組合の皆さんからご協力いただき開催している当ツアーも、今年で10回目の開催となりました。



▲9月26日(土)、開会前まで降っていた雨もすっかり上がり、市内外から23人の方に参加いただき開催しました。参加者の皆さんはれんこん田に入ると、慣れない泥に足を取られて前へ進むのも一苦労という様子でしたが、組合の皆さんのサポートを受けながら、大きなれんこんを掘り当てていました。顔に泥がついても笑顔で楽しむ姿が見られ、参加者の皆さんは普段あまり経験できない貴重な体験に感動していました。



◀収穫体験の後は、れんこん料理&新米コシヒカリの昼食です。れんこんタルタルサラダやれんこんチップ、焼きれんこんなど、いろいろなれんこん料理を味わいました。これまで食べたことがない食べ方に、参加者からはレシピを知りたいという声も聞かれ、組合の皆さんと一緒に昼食を食べながら、れんこんの調理方法を教えてもらうなど、楽しく交流を深めました。



●長岡市ふるさと創生基金事業とは…

市町村合併の際に合併特例債等を財源に積み立てた「長岡市ふるさと創生基金」の運用益を活用し、地域振興や新市の一体感醸成に資する取り組みを、地域住民自らが考えて実践するものです。

事業 その1

大口れんこん収穫体験ツアー ……表紙

事業 その2

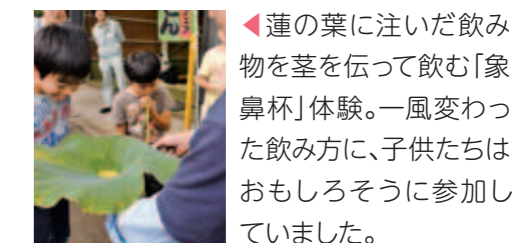
「ようこそなかのしま!」
イメージアッププロジェクト事業 ……2P

事業 その3

なかのんPR事業 ……3P

事業 その4

なかのしま
「出会い♥ふれあい」交流事業 ……4P



◀蓮の葉に注いだ飲み物を茎を伝って飲む「象鼻杯」体験。一風変わった飲み方に、子供たちはおもしろそうに参加していました。

▶蓮の実にハサミを入れて花の形を作る「蓮の実アート」体験。組合の皆さんから作り方を教えてもらいながら、和やかな雰囲気の中で製作にチャレンジしていました。



参加者の皆さんからは、「農家の皆さんがとても温かく迎え入れてくれて、とてもうれしかった。」「生産者の皆さんの収穫の大変さがわかりました。」「れんこんが甘くてとてもおいしかった。いろいろな味付けで食べられるのを知り勉強になった。」「収穫体験以外にもいろいろ体験できて、とても楽しかった。」「ぜひまた参加したいです。」等の感想が寄せられ、大口れんこんの魅力満喫してもらうことができました。

事業 その2

「ようこそなかのしま!」イメージアッププロジェクト事業

中之島の東の玄関口にあたる'04(ラブフォー)中之島記念公園。「中之島を訪れる人をおもてなしの心で温かく迎えよう。7.13水害の記憶を風化させず、市民の憩いの場にしよう」という思いを込め、公園を管理されている中之島ラブフォー隊や地域の皆さんが、シバザクラの植栽などに取り組んでいます。また、今年度は公園の法面と樹木をイルミネーションで装飾するなど、新たな魅力の発信にも取り組みました。



▼5月9日(土)、'04(ラブフォー)中之島記念公園で中之島ラブフォー隊や地域の皆さんなど約70人が参加し、公園の法面に白色と桃色のシバザクラやサルズベリを植えました。また、40基の木製プランターにヒマワリの種をまき、参加者が思い思いのメッセージを書いた手作りプレートを付けました。きれいに咲くように願いながら、地域の皆さんは花の成長を見守り続け、7月には満開のヒマワリが咲きました。



▼また、新たな魅力を発信する取り組みとして、法面に「'04なかのしま」の文字にソーラーライトを並べました。夜になると、優しい光りの「'04なかのしま」が浮かび上がりました。



▼10月23日(金)、中之島ラブフォー隊の約20人が公園内の樹木にイルミネーション(LED1,900球)の取り付けを行いました。夜になると色とりどりの光が輝き、幻想的な雰囲気に包まれました。



▲9月12日(土)、約30人が参加し、木製プランター40基にナノハナの種をまきました。春の訪れとともに、黄色のナノハナを楽しむことができるでしょう。

◆中之島ラブフォー隊からのメッセージ

7.13水害の堤防の決壊現場であり、交通の要衝である中之島大橋から見える大事な公園を、誇りを持って管理しています。今回初めてイルミネーションを取り付けたところ、多くの方から見ていただき感謝しております。また、一緒に活動していただける仲間をいつでも募集中です。ご協力をお願いします!

事業 その3

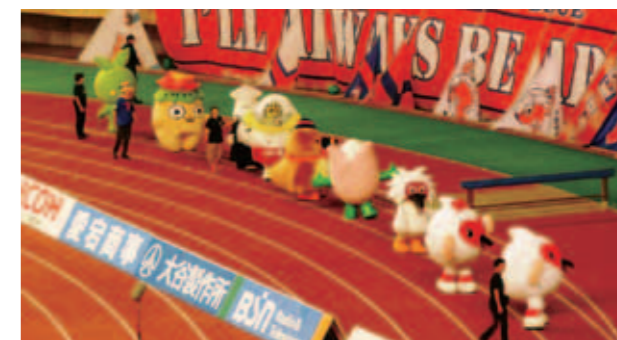
なかのんPR事業

平成25年度に誕生した中之島ご当地キャラクター「なかのん」。なかのんを通して中之島の魅力を広く発信しようと、中之島観光協会が昨年度から引き続き、なかのんPR事業に取り組みました。なかのんが地域内外へ浸透することで、地域外の人から中之島に興味をもってもらう機会が拡大したり、地元の人が地域への誇りや愛着を深める動機付けにも結びついています。今年度は、イベントへの出演回数の増加により破損・汚損が目立つようになったことや、機動力アップを図ることから、新たな着ぐるみの製作も行いました。

ここで、この1年間もPR活動に励んだ「なかのん」の取組内容をいくつかご紹介します。



▲5月3日(日)~5日(火)に大阪の中之島で開催された「第1回全国なかのしま物産展」に出演。関西でも大人気でした。



▲7月11日(土)、デンカビッグスワンスタジアム内で行進し、サッカー観戦に訪れていたサポーターから熱い声援を受けました。



▲11月21日(土)~23日(月)に静岡県浜松市で行われた「ゆるキャラグランプリ」でも注目を浴び、多くの投票を集めました。



▲5月17日(日)の交通安全パレード(写真左下)、9月30日(水)の交通安全指導所(写真右下)に参加。交通安全を呼びかけました。



▲11月21日(土)~23日(月)に静岡県浜松市で行われた「ゆるキャラグランプリ」でも注目を浴び、多くの投票を集めました。



▲支所前交差点付近に、3年連続で大きな雪像を作り、道行く人や運転者の安全を見守りました。

◇他にも、名刺やシール、カレンダーなどのなかのんグッズを製作し、各種イベントで景品として配布するなど、PR活動の一環として役立てました。さらに、「ゆるキャラグランプリ2015」では、全国から1,727体ものキャラクターが出場した中で、県内ではトップとなる114位(昨年は164位)と躍進しました。(ご当地部門では、1,092体中81位(昨年は124位)でした。)また、メディアでも取り上げられたことから、全国にもファン層が広がりました。『いつも応援してくれて、ありがとうのん ◎ω◎』